

発行・編集／社会福祉法人 広島市社会福祉協議会
2020年9月発行

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号(BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内)
TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416 (ボランティア情報センター直通)
URL: <https://shakyo-hiroshima.jp/> E-mail: voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp

広島市社協はコロナ禍でも「人と人とのつながりを大切にしたい」支援を行っています!

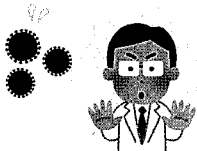
全国的に新型コロナウイルスに関する影響が深刻化する中、本会でも新型コロナウイルスの影響で、収入の減少や離職等により、生活状況が一変・深刻化した市民からの相談が増加しました。

そのため、従来の個別支援に加え、新型コロナウイルスの影響を受けた相談者に対して、感染拡大防止に注意を払いながらも、「人と人とのつながりを大切にしたい」支援を実施しています。

ここでは個別支援を行う際の本会の工夫や取組、実際の支援の一例、そして生活福祉資金特例貸付・住居確保給付金の申請件数を紹介・報告します。

※下記に出てくる福祉サービス利用援助センターとは、認知症や障害により判断能力が不十分な方が、地域において安心して生活を送れるように、利用者との契約に基づいて福祉サービス利用手続や日常的な金銭管理のお手伝いをする事業です。広島市くらしサポートセンターとは、生活保護を受給するまでではないものの、様々な理由により経済的な面で困っている方の相談を日々お受けしています。「住居確保給付金」の受付など、新型コロナウイルスの影響で困っておられる方からの相談も受け付けています。

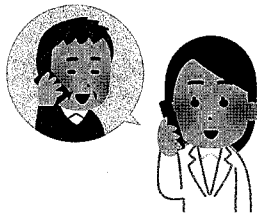
1 福祉サービス利用援助センターの工夫や取組



福祉サービス利用援助センターでは、訪問での支援が必要なことが多いため、新型コロナウイルスの感染リスク軽減のために色々な工夫をしながら、支援を行っています。

①訪問以外の連携・支援の強化

密を避けるために、利用者との面談による支援の回数を減らし、訪問時間の短縮化を図っています。そのような状況下でも、利用者や支援関係者との連携を維持・強化するため、いつも以上に連絡をとり、継続的に心身の状況や収支の把握に努めています。



②社協職員と利用者の感染予防対策の徹底

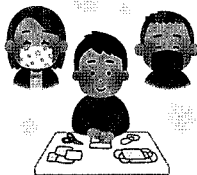
訪問時は、社協職員と利用者との間で適切な距離を取ることが困難なため、職員はマスクの着用とアルコール消毒用スプレーを常時携帯し、訪問前後には手指消毒を徹底しています。



③社協ならではの支援の実施

マスクを持っていない利用者には、市民の方からいただいた『手作りマスク(P4に特集)』をお渡しし、活用してもらいました。

マスクをお渡しすると、さっそく着けて「どう?」と笑顔を見せてくださったり、「病院に行く時着けるよ」と喜んで話される方もいました。



2 広島市くらしサポートセンターの支援の一例 (個人事業主の方からの相談)

「個人事業主として4月から県外の会社と業務委託契約を結び、会社が借りたアパートへ転居しました。しかし転居直後から新型コロナウイルスの影響で契約元の会社の事業実施さえ困難になり、最終的に業務委託契約を解消され、5月末に広島に戻ってきました。知人宅に2泊しましたが、今日から泊まるどころがなく、手持ち金もほとんどありません。新型コロナウイルスが落ち着けば事業を再開したいし、個人事業主が夢だったので、何とか生活を立て直したいので、支援をしてほしいです。」

●支援内容の検討

「一時的な住まいの確保」を最優先に、「個人事業主向けの新型コロナウイルス関連の制度の情報提供を行い、事業及び生活の立直しを図る」ことについて支援することにしました。

●現在

複数機関との調整の結果、「一時生活支援事業」(シェルター)の利用が可能となり、一時的な住まいを確保することができました。そして事業の立直しに関しても、新型コロナウイルス関連の給付金や生活福祉資金特例貸付等を紹介し、本人が活用することで広島での事業再開の見通しがたち、現在準備を行っています。

●本人の声

何とか事業を立て直せそうです。事業を再開しても難しさはあると思いますが、引き続き色々な人に相談してやっていきたいです。

●シェルター事業者の声

個人事業主としてやっていくにはリスクもありますが、頑張ってください。シェルター退所後も相談にはいつでも乗っていききたいと思います。

3 生活福祉資金特例貸付(※1)等の申請件数

令和2年 3/25~7/31	緊急小口資金	総合支援資金	住居確保給付金(※2)
	5,399件 (932,400,000円)	933件 (411,305,000円)	810件

※1 生活福祉資金特例貸付には、緊急小口資金・総合支援資金がある。

※2 生活困窮者自立支援法に基づく事業の一つ。

◆この記事に関する問い合わせ先◆

生活支援課 福祉サービス利用援助係
生活支援課 くらしサポート係

TEL 082-264-6406 FAX 082-264-6413
TEL 082-264-6405 FAX 082-264-6413

人が集まる拠点～佐伯区五日市南学区社会福祉協議会～

学区社協会長の瀬戸さん、地域福祉推進委員の深川さんにお話を伺いました。

Q1. 拠点について教えてください。

- 開設日には、瀬戸会長、深川地域福祉推進委員、現在お休みされておりますが前田地域福祉推進委員の3名が常駐しています。
- 人が集まり、人の輪が深まる拠点になっているのが特色だと思っています。
- 拠点を開設するまでは、曜日を問わずスタッフの自宅へ直接相談の電話がありました。拠点を開設し、社協だより等で拠点の開設日を広報することで、拠点が住民の方に認知され、開設日にあわせて来所いただいたり、お電話をいただくという流れができたように思います。また、拠点ができたことで関係者間のちょっとした打ち合わせが場所を気にすることなくできるようになりました。



拠点概要

- ①拠点設置年月日：平成29年5月13日
- ②場所：佐伯区医師会みなみビル（広島市佐伯区海老園1-5-40）
- ③使用形態：佐伯区医師会の建物の一室を借用
- ④開設日：毎週火・木曜日 10:00～16:00
- ⑤スタッフ：3名（瀬戸さん、深川さん、前田さん）



◀左から瀬戸さん、前田さん、深川さん

拠点スペース▶



Q2. 拠点の様子について教えてください。

- どのスタッフを訪ねて相談に来られるか分からないため、可能な限り3名揃って常駐し、対応できるような体制にしています。
- 瀬戸会長は、連合町内会の会長も兼務しています。その他にも消防団を30年以上しています。深川地域福祉推進委員は、地域福祉推進委員を30年、民生委員を15年続けています。これまで築いてきた繋がりが大きく、開設日にはスタッフを訪ねて拠点へ相談に来られたり、電話をいただいています。
- まごころ弁当の配膳活動、サロンの運営、小学校での交流学習（福祉教育）、来所や電話による相談対応、広報紙の作成等、毎日大忙しですが、ボランティアの方と力を合わせて地域の方のためになればとの思いで頑張っています。
- 一人暮らしの高齢者の方から、何かできることはないかとの相談をいただくことがあります。サロンを紹介したり、まごころ弁当実施のお手伝いに誘ったりしています。時には、スタッフだけではどうにもならない相談をいただくことがあります。その際は、これまでの繋がりを活かしながら、適切な関係機関へのつなぎを行っています。

Q3. 今後についての思いをお聞かせください。（展望や課題）

- 住民の方のためにも、開設日数を増やしていきたいと思っておりますが、開設日数を増やすと拠点の維持費が捻出できない状況です。経済的な課題がクリアできれば、スタッフを募り開設日数を増やしていければと考えています。

◆この記事に関する問い合わせ先◆【地域福祉推進課 地域福祉係】TEL：082-264-6403 FAX：082-264-6413

コロナに負けない地区社協の取組～西区庚午地区社会福祉協議会～

地域福祉推進委員の桑野さんにお話を伺いました。

桑野さん▶



Q1. 庚午地区ってどんなところ？（取組も含めて）

もともと社宅があった地区のため、人口が多い地区です。高層マンションも多く、高齢者から若者まで幅広い世代の方がまんべんなくいる地区です。庚午ができてから今年度で150周年を迎えました。高齢者サロンや子ども食堂、太鼓団、姫・彦俵みこし、とんど祭り、認知症カフェ、わんわんパトロール等、様々な取組を行っています。

Q2. コロナの影響は？

いつもサロンに参加されている高齢者の方が、コロナウイルスに感染することへの不安から外出機会が減り、体力が低下してしまうという懸念がありました。サロンの世話をする側としても感染者を出したらどうしようとの不安もあり、3月から全面的にサロンを中止しました。

それでも、人と人とのつながりを絶やしてはいけないの思いから、安全に安心して参加していただける形を試行錯誤し、6月から感染対策を講じながら徐々に活動を再開しています。

Q3. サロン等で実施しているコロナ対策は？

狭い会場で実施していたサロンをなるべく広い会場に変更したり、サロンの参加者を2つのグループに分け、グループごとに時間をずらす等、今までのサロンの形を変えながら実施しています。

また、子ども食堂はこれまでとは違う場所で、6月7月は屋外で8月からは十分に換気を行い、飛沫感染防止のパネルを設置

して、コロナ以前とは違う形での再開をしています。

現在、25のサロンの内、体操系のサロンも再開してきています。1箇所集い、お茶を飲みながらおしゃべりをするようなサロンは、9月頃の再開を目指しています。

Q4. 新型コロナウイルス感染症の影響に対する地域福祉活動緊急支援事業を活用した取組について

飛沫感染防止のパネルを購入して子ども食堂を実施する際に設置したり、消毒液や非接触型温度計を購入して、地区内のサロンや子ども食堂へお配りして活用いただきました。

Q5. 今後の活動展開について

庚午ができてから150周年を迎えるにあたり、大々的にイベントを開催する予定でしたが、コロナの影響で来年度に延期することになりました。来年度の実施に向けて準備を進め、大いに地域を盛り上げていきたいと思っております。

また、サロンについてもコロナ禍の中で対策を講じながら前に進み、そこから新しい日常の形を作っていけたらと思っています。

庚午地区の方が、取組を通して地域と繋がっていく、ゆるやかな顔の見える地域を目指して、今後も取組を進めていきたいと思っております。



▲子ども食堂での非接触型温度計活用の様子



▲子ども食堂での飛沫感染防止パーテーション活用の様子

◆この記事に関する問い合わせ先◆【地域福祉推進課 地域福祉係】TEL：082-264-6403 FAX：082-264-6413

つながりを絶やさないためにコロナ禍の工夫を共有!!

～広島市生活支援体制整備事業市域協議体の開催報告～

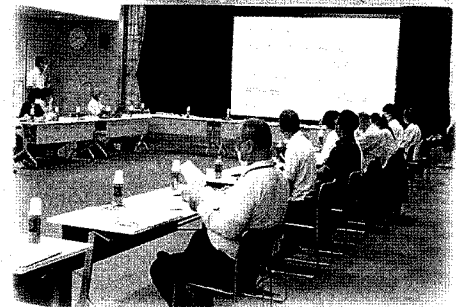


(地縁組織、ボランティアグループ、企業等)の定期的な情報交換や相互の長所を生かした連携を図ることを目的としています。

今回は「コロナ禍における地域活動」をテーマに、地域活動におけるコロナ禍の振り返り、悩み・不安・行っている工夫・あったらいいなと思うもの等について情報交換をしました。多く出された意見として、「通いの場開催のためには様々な感染対策グッズが必要」というものがあり、広島市の補助事業や助成金の活用事例を共有する等して地域を支える方法のアイデアを出し合いました。他にも、「通いの場の大切さを改めて感じた」、「通いの場等の代

7月28日に広島市市域協議体を開催しました。この市域協議体は広島市市域の地域の生活支援体制整備に関わるあらゆる団体

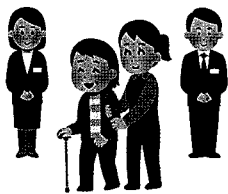
表者の責任問題を改善したい」、「これまでのつながりからの工夫をもっと共有したい」、「新しいつながり方の模索が必要」等の声が挙がりました。この協議体の開催を経て、コロナ禍における「できたらいいな」「あったらいいな」の実現に向け、各所へアプローチを行っていくこととしており、現在は多くの要望の声があった非接触型体温計の地域活動団体への斡旋等を企業、各関係機関と連携をしながら進めています。今後もいかにして地域活動の継続を可能にし、「つながり」を絶やさないようにしていくか、「これまでの方法の工夫」と「新しい形」の提案について各地域の好事例の情報発信をしていきます。



▲安佐南区昆沙門台学区社協におけるコロナ禍の地域活動について事例発表。

◆この記事に関する問い合わせ先◆【地域福祉推進課 地域福祉係】TEL：082-264-6403 FAX：082-264-6413

新型コロナウイルス感染症の影響に対する地域福祉関係団体応援金



この応援金は、共助の精神に立って新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすい困難を抱えた方々を支援してきた地域福祉関係団体に対し、感謝の意を示し、安心して活動を再開、継続されることを支援するため、広島市の補助金を原資に、1団体あたり一律10万円支給するものです。

これまでも住み慣れた地域で心豊かに暮らすため、地区社会福祉協議会が中心的な役割を果たしながら、住民主体の取組を進めてきました。新たな生活様式においても、この連携をさらに深めて取組を進めることが重要です。

今後の地域福祉活動に応援金を有効に活用していただければと思います。



◆この記事に関する問い合わせ先◆【地域福祉推進課 地域福祉係】TEL：082-264-6403 FAX：082-264-6413

Facebookページを開設しました!!

本会の事業に関する情報や、市内を中心とした地域福祉活動の取組等について発信していきます。

<https://www.facebook.com/hiroshimashishakyo/>



手作りマスク・物品等寄贈のお礼とご報告

～手作りマスクでつながる思い～



4月23日から始めた手作りマスク等の募集については、7月31日をもって終了させていただきました。

広島市内からはもちろんのこと、県内（東広島市、廿日市市、呉市等）・県外（秋田県、東京都、岡山県等）を問わず多くのご協力をいただき、ありがとうございました。ご協力いただいた人数は「125名（団体・個人）」、寄贈いただいた手作りマスクは「4,001枚」となっております。

手作りマスクと一緒に温かいお手紙が添えられましたので、その中から1通ご紹介させていただきます。

自粛生活にストレスを感じているところ、ありがたく作らせていただきました。マスクゴムがなく、偶然マスクゴムの販売に出会い、ヤッターと心で叫びました。失敗しながら、大きさもまちまちです。どなたがわからない方々の笑顔が見られたらと思います。

寄贈いただいた手作りマスクについては、必要とされる各施設・団体の子ども・障害児者・高齢者等に寄贈しております。また、寄贈先から感謝のお手紙が届きましたので、1通ご紹介させていただきます。

大変素敵なマスクですね。みなさんのお気持ちの込められたマスク、大切にに使わせていただきます。物理的距離は広がっても、気持ちの距離は遠方からでもつながるということを感じます。人は人がいるからこそ励まされ、困難を乗り越えていけるのだと改めて思います。みなさんの思いを胸に、私たちも頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。

当初は外出自粛、現在は新しい生活様式が求められる中で、「一人一人の思いがつながり、少しでもほっこりした優しい気持ちで過ごしていただければ」という願いを込めて手作りマスクの募集を開始し、このように多くの方々へ共感していただけたことに感謝いたします。また、「だれかのために」という思いを持たれて行動していただける方が、こんなにたくさんいらっしゃるのことが分かり、温かい気持ちになりました。

今後とも皆様とのつながりを大切にしていきたいと考えておりますので、引き続きボランティア活動へのご支援ご協力をよろしく願いたします。

※皆様から寄せられたお手紙等は、市総合福祉センター6階のボランティアサロンに掲示してありますので、お近くにお越しの際は、お立ち寄りください。お待ちしております。

手作りマスク・物品等の寄贈ありがとうございました

次の方々からご協力いただきました。【令和2年7月31日時点の寄贈状況（敬称略・順不同）】

①手作りマスク 4,001枚（大人用3,185枚、子ども用816枚）

●団体 8団体

江本 桂子（広島市心身障害児者父母の会）、広島修道大学ひろしま協創高校、矢野南小PTA有志、板谷 裕美（手話サークルあすなろ）、谷本 憲五（広島市防災士ネットワーク）、西川物産（株）、光嶋歌謡教室有志、ボランティア鯉城の会

●個人 99人

青野 和恵、有本 優香、池田 淑子、石井 祐子、今田美由紀、上宮美恵子、大橋由香里、大道知津子、岡 聖子、岡島 梨奈、岡田 昌子、小河原まゆみ、沖 由美子、小田 清美、越智佐知子、越智 実桜、恩地 美幸、片山 原美、加藤久美子、上小城寿恵、川崎 佳代、木村 富恵、國光 朋子、倉石 桂子、桑原 幸子、小原トヨ子、小林 正恵、小山 勇太、在津 瑠美、阪本 彩希、佐々木美沙、重本 博美、杉山めぐみ、武田千恵子、手嶋 暢子、出本 峰子、寺戸 友哉、土居 静子、徳永 久、富田 真弓、鍋原 一慧、二宮小百合、野々山朋子、橋本 潔子、長谷部智美、濱田寿美枝、林田 泰子、原田 茂樹、東 いづみ、日高 悦子、平田かよ子、平林 英子、増田 千種、松本 友子、丸山 陽子、三宅 和子、武藤 律子、村上 清子、望月 大誠、森 亜矢子、山岡 君枝、山田めぐみ、山本 壽子、山脇 一毅、吉田 遊羽、吉永美奈子、脇坂 憲子、岡田 奈美、山本 朝子、三成 清香、横山記代子、匿名28人

②物品等寄贈（マスク作成用材料等）

●団体 1団体

松本 喜展（きらきら☆HIROSHIMA）

●個人 17人

上野 光慧、谷本 芳江、堀本 哲夫、吉村 美晴、匿名7人

※本会のホームページ等に掲載可と確認が取れている方のみご紹介しております（なお、手作りマスクと物品の両方を寄贈いただいた方については、手作りマスクの欄で氏名を掲載しております）。

手作りマスクを寄贈させていただいた施設・団体

広島市立広島特別支援学校、社会福祉法人もみじ福祉会、認定NPO法人コミュニティリーダーひゅーるぼん、社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会広島作業所、一般財団法人広島市母子寡婦福祉連合会、社会福祉法人広島修道院、社会福祉法人順源会（見真学園）、ひろしま避難者の会「アスチカ」、広島夜回りの会、似島地域おこし協力隊、社会福祉法人広島YMCA福祉会広島YMCA保育園、特定非営利活動法人ANT-Hiroshima、すずらんひろば高陽、ひろしま女性防災会



※寄贈させていただいた際の写真は広島市社協HPへ掲載しております。

平成31年度 広島市社会福祉協議会 決算報告 単位：千円

内 訳	社会福祉事業	公益事業	小 計
会費収入	9,093		9,093
寄附金収入	1,776		1,776
市補助金収入	714,010	21,091	735,101
助成金収入(共募除く)	1,500		1,500
共同募金助成金収入	42,674		42,674
受託金収入	326,731	480	327,211
事業収入	6,853	1,233	8,086
受取利息配当金収入	2,779		2,779
基金原資取崩収入	8,000		8,000
その他の収入等	2,732		2,732
前期末支払資金残高(繰越金)	79,279		79,279
計	1,195,427	22,804	1,218,231
法人運営等	233,608		233,608
まごころ銀行	842		842
福祉大会・広報	3,306		3,306
福祉のまちづくり支援	47,039		47,039
区社協育成	332,767		332,767
総合福祉センター等会館管理	35,314	16,261	51,575
シニア応援センター事業	18,104		18,104
ボランティア活動支援	35,296		35,296
災害被災者援助事業/生活再建サポート事業	8,293		8,293
日常生活自立支援事業	84,872		84,872
成年後見事業/市民後見人養成(受託)	26,419		26,419
生活困窮者自立相談支援等事業(受託)	158,851		158,851
介護予防・日常生活支援総合事業等事業(受託)	57,564		57,564
障害者(児)ガイドヘルパー派遣事業(受託)	46,134		46,134
その他受託事業	907	480	1,387
基金運営	14,535		14,535
貸付事務	21,334		21,334
ちびっこ広場整備事業		4,038	4,038
シニア大学		2,025	2,025
その他(次年度繰越金含む)	70,242		70,242
計	1,195,427	22,804	1,218,231

【決算】実質収支(※職員派遣事業、貸付を除く)

まごころ銀行へのご協力ありがとうございます。

本会まごころ銀行に、次の皆様から厚くご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。【令和2年4月1日～6月30日(順不同)】

●一般寄附預託者
株式会社アミパラ 広島店 様/株式会社アミパラフォレオ 広島東店 様

●物品預託者
【食品】 島山 俊 様 藤川 義徳 様
吉川 眞理 様 宗教法人真如苑 広島支部 様

【車いす】 ピップ株式会社 様
皆様からお寄せいただいた浄財は、高齢者・児童・障害者の福祉など明るい地域社会を築くために活用させていただきます。

この記事に関するお問い合わせ先 | 【総務課】 TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437

今年もよろしくお祈りします。赤い羽根共同募金

令和元年度の赤い羽根共同募金運動には、多くの皆様のご支援を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。
おかげさまで、78,362,894円の募金をお預かりし、主に市内の区及び地区(学区)社会福祉協議会や社会福祉団体へ配分いたしました。今年も10月1日から、全国規模で運動が展開されますので、皆様の温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◎令和元年度共同募金の使途について

配分内容	配分額(円)	配分対象
地区(学区)社協活動費	17,547,000	市内地区(学区)社会福祉協議会
福祉のまちづくり総合推進事業	20,850,000	社会福祉協議会
区社協活動費	1,255,894	市内各区分会社会福祉協議会
広島市域福祉団体・福祉施設	674,000	市内3団体
広島県域福祉団体・福祉施設 ※災害等準備金含む	38,036,000	県域福祉団体・福祉施設
合 計	78,362,894	

配分希望団体を募集します

広島市共同募金委員会は安心・安全で住みよい福祉のまちづくりや、地域の福祉課題を解決するための活動を実施している住民団体、ボランティアグループ、NPO等の福祉団体へ事業費を配分しています。
応募期間は、令和2年10月1日～11月30日です。

詳しくは、広島市社会福祉協議会ホームページ-赤い羽根共同募金-福祉団体事業助成についてをご覧ください。

お問い合わせ 広島市共同募金委員会 〒732-0822 広島市南区松原町5-1 広島市総合福祉センター内 TEL:082-264-6400 FAX:082-264-6437

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和2年度

ボランティア活動保険

全国200万人 加入!!

保険金額・年間保険料(1名あたり)

保険金の種類	プラン	
	基本プラン	天災・地震補償プラン
死亡保険金	1,040万円	
後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
入院保険金日額	6,500円	
手術 保険金	入院中の手術	65,000円
	外来の手術	32,500円
通院保険金日額	4,000円	
地震・噴火・津波による死傷	×	○
賠償責任 賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料	350円	500円

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

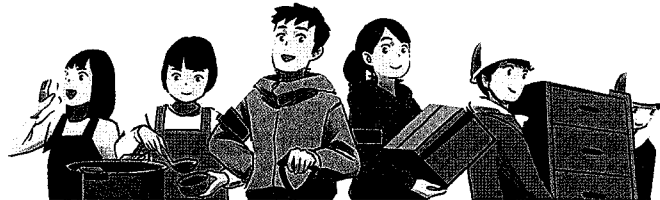
http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは コチラ

(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引渡受取 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉
TEL:03(3349)5137
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)
損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK19-12918 2020.2.10作成)

社会福祉法人 広島市社会福祉協議会賛助会員へのご協力ありがとうございました。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。これからも地域福祉を推進する本会をご理解いただき、様々な地域活動に積極的に参加していただくとともに、今年度も引き続き、賛助会員としてご支援をお願いいたします。

平成31年度の賛助会員に加入していただいた方々
【平成31年4月1日～令和2年3月31日】

個人:	1,819名	2,853口	2,853,000円
法人:	96法人	161口	1,610,000円
法人(施設):	30法人	60口	600,000円
			(生活困窮者再建サポート事業)
		合計	5,063,000円

賛助会員へのご協力ありがとうございました。

次の方々からお申し込みいただきました。
【平成31年4月1日～令和2年3月31日No.71号掲載分を除く(敬称略・順不同)】

個人

- 田原 範朗、石田 芳文、丹羽 浩之、及川 享、岡村 清
加賀谷哲郎、向久保 亨、木村 滋宏、埴田 宜宏、水口 直也
野間 圭介、山崎 俊治、重水 靖彦、浦川 知己、中谷満美子
岡崎 智博、秋田 耕志、岡谷 光展、山根 孝幸、島谷 誠士
松嶋 博孝、後藤 和隆、平岡 重宏、遠山 郁也、山本 将矢
福田 吉彦、古川 智之、阪谷 幸春、谷 康宣、大上 政寿
鹿林 正、藤井 伸朗、尾田 達史、八木 真理、早川 博光
石井 桂子、荒木 清希、嘉村慎二郎、皆川 英明、古川 智恵
中村 浩平、西佐古晋平、三森 倫、坂本 裕敬、久岡 桂子
蔵田 和正、奥田憲一郎、白石 一行、芦田 雅嗣、上田久仁子
松井 勝憲、上貞 玲賜、八木 孝裕、澤岡 澄子、宮地 明美
金田 美幸、三宅実恵子、岡崎 史恵、鍵本 美江、岡本 雅子
横田 明恵、紙田真由美、宮岡 陽子、山村 裕美、大上 智子
藤原 恵子、浜岡 恵美、立石ゆかり、宮本 織恵、山根 聖子
舩金 幸江、植永 充子、西川 智恵、天野 博司、亀本 健介
大原 秀朗、徳村 守、長谷部良治、成松 隆雄、小笹山秀夫
清水 貴司、沖田 洋一、上川 昌裕、前田 勝利、重田 光生
河本 健三、今井 崇博、伊藤 哲之、石橋 怜、石井 雄大
福岡 美鈴、福本 正裕、奥野 博文、田中 秀樹、横田昌二郎
細田 民子、国重 俊彦、金谷 淳子、木島 正恵、陶山 融
佐々木修司、浅尾 浩哉、満岡 隆、廣戸 哲夫、建部 賢次
長 敏伸、貞森 英樹、荒木 信治、中村 朋幸、向井田逸紀
菊地 裕巨、湯木 達也、原田 俊治、斉藤 浩司、糸山 隆
荒瀬 尚美、山越 重範、木本 卓夫、舟津 有紀、戸政 佳昭
横見 環司、吉川 保、長谷 富美、広田 稔之、三浦 宏昌
津田 智子、満汐 順子、山形恵美子、大久保 誠、松浦 泰博
小田 卓也、松岡 令子、山領 勲、戸田 美鈴、野間 泰臣
藤川 宜陽、世羅 徹治、中谷 智子、筒井 順也、竹島 浩司
小田原順蔵、横山 善規、森田 健嗣、村上 早苗、松浦 幸雄
宅見 雄二、村山 友一、拜崎 美和、木原 和子、徳丸 憲之
宮田 稔、北崎 俊司、西田 由香、柴田 吉男、細田 益啓
船岡 徹、谷本 睦志、岩崎 学、重村 隆彦、円奈 勝治

- 山地 正宏、宮迫 純一、夏明 秀嗣、岩田 勇治、上口 雅彦
叶 真幹、寺本 公彦、南 直子、道下 真穂、若林 聖
井筒 敦子、作間 和恵、岡田 幸子、木村みゆき、上松由美子
岩本 弥和、増田恵利子、山本登喜美、竹内 美貴、江村美紀子
野上 朋子、川崎 文子、今井 浩子、坂本 玲子、國貞 祐子
山根 真美、熊谷謙次郎、和高 秀文、湯田 明美、三浦 義之
中田恵理子、石田真佐美、山田 裕子、伊藤 和美、平本 琴恵
新宅 泉、那須 寿子、木下 健一、米廣 省二、山田 直子
山口久美子、松原千奈美、水津 直樹、世良裕紀子、中本 将生
伊藤 良平、金谷 秀弘、山上 翠、寺西 祐治、内田 達也
松本 真弓、丹 孝子、長谷川 洋、福岡 幹人、杉野美奈子
手賀 剛、西河内 仁、大下 恵子、村上 雅昭、川本 尚樹
村上 和敬、永原 幸芳、平口 英文、藤本 知子、河内 美保
大下 武彦、川本 敏磨、萩原 融、古本 久直、金川 勉
稲垣 秀和、奥村 恵子、森下 隆志、並川 聡之、青木 雅彦
吉田天次郎、坂井 千春、野澤 久美、小田 啓史、河田 ゆみ
村井 芳弘、原田 利博、佐々木英三、森 雅利、笹田久美子
宮正千鶴雄、葛籠 直人、網藤 清次、大片美保子、清水 克宏
永井 勝郎、高橋 喬、山村 健一、檜崎 正生、武本紀美子
玉木 雅人、黒本 英作、原田 康宏、吉村 俊一、大塚 由美
鍛木 勉、堂免 直樹、宮奥 紀恵、絹谷 徹、谷田 邦子
恩地 孝明、橋本 忍、保里 昭浩、小林 伸行、新田千佳子
角 雄二、宮奥 和司、八谷 玲子、小畑 幸治、金村 成義
大前 隆之、安藤 桂、角崎真由美、出元 千秋、芝山潤一郎
片山 大右、松脇 守弥、中山 由可、小島 健作、村井 康敏
原之園和弘、森 直樹、松岡 美香、重森 雅穂、檜山 枝美
土岐 尚史、松田 裕二、林 宗男、不島 清、山崎 英芳
正木 和彦、筒井 恵淳、中司 博之、原田 忠則、升原 一昭
梶江 博史、新川 恵美、児玉 安司、正林 一彦、三宅 徹
匿名 公彦、寺西 雅弘、太田 直之、沖野 英樹、鈴木 敬司
笹田 清浩、木下 千恵、中高下博次、橋本 裕治、広中 康雄
和泉 秀夫、渡邊 陽一、土井 圭太、柳 義信、松出 由美
久保 雅之、大東和政仁、影本 正之、松村 司、西本 和弘
矢島 泰造、野木 浩司、山崎 昌弘、保田 卓己、片平 靖
北吉 孝行、倉石 雅基、黒木 正之、小合 均、荒川 宣昭
西川 学、矢野 大介、谷本 卓也、沖元 英典、蒲池 清士
尾崎 康、新谷 耕治、品川 弘司、宇都宮 斉、久保下雅史
藤岡 信明、高橋 浩二、船津 富夫、鶴野 沙弥、畠山 温子
森田 清、三隅 俊行、三村 誠司、完田有希子、藤岡 義晃
藤井 恭子、箱崎 太貴、松井 裕次、大亀 奨、山本 昌昭
佐藤 哲規、町田 陽一、端山 徹、中野 牧子、町田 典子
河野 仁、平田 直哉、高森 裕子、宮田 明典、高路 博一
木下麻由佳、矢山 精一、杉野 由美、田畑 健雄、河内 豊

法人

※市社協通信No.71号において掲載できていなかった賛助会員(法人)様にお詫びするとともにあらためてお名前を掲載させていただきます。
広島市西部団地組合連合会(構成団体:協同組合広島総合卸センター、広島食品工業団地協同組合、広島輸送ターミナル協同組合、広島西部流通倉庫団地協同組合、鯉城鉄工センター協同組合、広島市自動車整備団地協同組合、広島西部飼料卸協同組合、広島印刷団地協同組合、広島家具木工団地協同組合)